

足利風 -ashikaga-fu

2016

4月号

Vol. 43



絵：あべ あやこ

足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

*特集！

*TOPICS

*私のボランティアことはじめ

*サークル紹介

*インフォメーション

*センターからのご案内

＊「やさしさ」という覚悟＊

～人にやさしくすると、人は、あなたに何か隠された動機があるはずだ、と非難するかも知れません。それでも、人にやさしくしなさい。～

マザー・テレサは、こう言った。四半世紀も前になった・・その深い知性と覚悟を秘めた瞳と出逢ったのは・・東京で、そして、インド・コルカタで。

～この世界は、食べ物に対する飢餓よりも、愛や感謝に対する飢餓の方が大きいのです。～人は、しばしば、不合理で、非論理的で、自己中心的です。それでも、ボランティアの心で、許しなさい。～持っている一番良いものを分け与えても、決して十分ではないでしょう。それでも、一番良いものを分け与えなさい。～私たちは、大きいことはできません。小さなことを、大きな愛をもって行うことだけです。

ボランティアの心・NPOの志の真ん中にあるものは“やさしさ”。そして、誰かに必要とされる自分がいて、その自分は、多くの人たちによって生かされている、と感ずることなのだろう。

いま世界中で話題の“「やさしさ」という技術”(ステファン・アインホルン著)を読み終えた。スウェーデンの癌専門医が、“なぜ、与える人ほど多くを受け取るのか？”などなどを、多くの実践事例をふまえて解き明かしている。

“やさしさ”は、生まれながらに持っている資質ではなくて、誰もが身につけ磨くことのできる



“技術”であり、“弱さ”と同義なのではなくて、世界を変えるほど大きな可能性を秘めている・・。かつてのケネディ演説「国があなたに何をしてくれるか、ではなくて、あなたが国のために何ができるかなのだ」と同じ意味で、「仲間が自分に何をしてくれるかを問うのではなく、あなたが仲間のために何ができるのかを考えよう」・・このような姿勢でいれば、周囲との関係は劇的に、あなたにプラスに変わる・・と、著者は語っている。

私は、マザー・テレサとの出逢いから感じたことも含めて、このことは、“やさしさという覚悟”なのかも知れない、と思う。 (M生)



＊「みんなの学校」上映会 大反響！ ＊

1月31日(日)助戸公民館ホールでの「みんなの学校」上映会は3回ともほぼ満席の盛況でした。「自分がされていやなことは人にしない！」という、たった一つの約束だけで、不登校ゼロ、すべての子どもが共に学び合う“奇跡の小学校”・大阪市立大空小学校のドキュメンタリー映画は、足利市民のみならず、大田原・真岡・太田・前橋などの県域を超えた、教育関係者だけにとどまらない広範な各界各層の人々の共感をよびました。初代校長の木村泰子さんをお迎えして、3月12日(土)には、足利市民会館別館ホールで講演会も開催します。みなさんのご参加をよろしくお願いいたします。

新井街栄(「みんなの学校」を足利で観る会代表)

＊「伝統芸能をもっと身近に感じていただきたい」＊

～山岡 美奈子～



DNA に記憶されているのかもしれませんが。

箏や尺八のやさしい音色、三味線の爪音、祭囃子の笛や金の音。

ふと耳にした邦楽器の音を、初めて聞くのに懐かしいなあと感じることはありませんか。

それらの繊細な響きはいつでも日本人の感受性の奥深くに根付いているのに、残念なことですが最近では特別な機会にしか触れることが出来なくなっているような気がします。

伝統芸能をもっと身近に感じていただきたい。

そんな思いを込めて今年度 NPO 法人 両毛伝統芸能振興会 足利ぶんか倶楽部 が発足し、その初めての事業として「樺崎もうで」を主催しました。樺崎八幡宮の神楽殿を野外舞台にしつらえ、無形文化財の足利鳶木遣りと太々神楽を中心に、足利かがやき大使のケーナ奏者 Ren さんの演奏、地元邦楽関係者の演奏披露等の内容です。

来場なさった方の多くは足利在住にもかかわらず「初めて来た」「こんな場所があったなんて知らなかった」と口になさる方が少なくありませんでした。足を運んで初めて実感できることが、たくさんあると思います。伝統芸能の演奏会をきっかけに、歴史ある足利を含め両毛地区の新しい発見に少しでも貢献できれば幸いです。

開催に当たっては県の助成を受けました。このような事業は、残念な事ですがなかなか助成なくして成立しないのが現状です。NPO 法人の資格があることでいろいろな信用が出来、助成が受けられやすくなり活動の枠が広がることは言うまでもありません。

設立に関しては何もかも初めて尽くしで不安もたくさんありましたが、市民活動センターの方たちが協力してくださり無事認定を受けられました。また事業に関しても広報等親身になって応援をして貰えたことは、本当にありがたかったです。

たくさんの方のお力添えの元、あくまで伝統の軸は崩さずに、現代にあった柔軟性をもって一歩ずつ進んでいけたらと思っています。



＊「足利市第三者調査委員会報告書を読む会」＊

私たちは、西中生徒事故死に関する、足利市第三者調査委員会が、平成26年6月30日に提出した報告書が、まだ十分には市民に理解されていないこと、そのことが足利市における子ども施策の推進・改善を妨げる要因の一つとなっているのではないかとと思われることから、報告書の理解促進をはかることを目的に、勉強会の開催などを行うことにしました。多くの市民に、報告書の内容を理解していただき、市民一人一人が、足利市の子ども施策について考えられるよう活動していきたいと思っています。

① インフォメーション ①

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。
その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、
ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。
どうぞ、お気軽にご参加ください。

★4月9日(日)午前10時～

- * 本 : 池上 彰「超訳 日本国憲法」(新潮新書)
- * 案内人: 斎藤ゆみ さん
- * ひとこと : “戦争のない国・基本的人権が守られている国の基礎には憲法があります。今、「憲法をもう一度読んでみよう」「憲法を知って、今を生きている自分を知り、その精神をもっと普段の生活に生かしていきましょう」。この本を道案内に、私たちの日常生活を振り返ってみれば、もっと自由な、生き生きとした楽しい日常が生まれてくる予感がします”

★5月18日(水)午後2時～

- * 本 : 勝 海舟「氷川清話」
- * 案内人: 奥中敏則さん
- * ひとこと : “「男児世に処する、ただ誠心誠意をもって現在に應ずるだけのこと。あてにもならない後世の歴史が、狂と言おうが、賊と言おうが、そんな事は構うものか。」このような名言を残した勝海舟が、現在の日本に、足利に生きていたなら・・・と、日々思っています。”

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場 ～ 4月・5月のご案内 ～

- * 和と洋の創作人形展(3月28日～4月7日)
- * 四季の写真展(4月11日～21日)
- * 石と竹で、句をしつらえる 展(4月25日～5月12日)
- * 受難句集の書 展(5月16日～26日)

☆相談室 & 講座のご案内

- * 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照
- * 講座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

編集後記

桜の季節です。“薄墨の桜”(宇野千代)という線香を、この桜の季節に逝った人たちの墓前に手向けます。唯一の例外として、5年前東日本大震災で、爛漫の桜の花を観ることなく逝った方々に手向けました。涙が止まりませんでした。(カサブランカ)

“ 講座・相談室のご案内 ”

【相談室】

日付	相談テーマ	相談員
4/13（水）	わかりやすい整理術教えます	濱田 真由里さん （整理収納アドバイザー）
4/27（水）	楽しい足利弁教室	渡辺 啓子さん （前タウン誌編集長）
5/11（水）	広くて深い俳句の世界です	日下部 悲天さん （俳人）
5/25（水）	フリースクールって何だろう？	新井 街栄さん （子ども若者支援“からふる”代表）

時間 午後２時～午後４時

会場 足利市民活動センター（旧保健所）

【 講座 】

日時	講座名
4/21(木)	和菓子の魅力 講師：福島 幸治さん（御菓子司ふくしまや）
5/19(木)	そばの魅力 講師：根本 忠明さん（蕎麦遊庵）

時間 午後７時～午後９時

会場 足利市民活動センター（旧保健所）

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 （☎0284-44-7311）

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

期間	企画展名	出展者
3/28 (月)	和と洋の創作人形展 ～北村和子の世界～	北村 和子さん
～4/7 (木)		
4/11(月)	四季の写真展 ～春さんの世界が広がる～	春山 昌義さん
～4/21 (木)		
4/25 (月)	石と竹で、句をしつらえる 展	日下部 悲天さん
～5/12 (木)		
5/16 (月)	受難句集の書 展 ～東北震災と水俣～	田中 佑雲さん
～5/26 (木)		

展示会場 足利市民活動センター（旧保健所） 3階 みんなの広場
（足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311）

展示時間 午前10時～午後7時

休館日 土・日・祝